

## 【蚊の生態について】

蚊の種類はさまざまですが、日本国内において都市部や農村部など広い範囲で見られるのがヒトスジシマカとイエカ(アカイエカ・チカイエカ)です。

### ヒトスジシマカ(やぶ蚊)

基本的に昼間に行動し、夏は活動的になる。10月末(地域によっては11月上旬)まで卵を産み、卵の状態越冬する。卵は乾燥に強く、春になって卵が水に触れると孵化する。行動範囲は約50m~100mと狭く、この蚊がいた場合、近くに発生源があることが多い。

産卵は竹の切り株や植木鉢の水受け皿など少量の水でも行う。そういった場所は水が干上がりやすいため、卵は乾燥に強く、降雨など次に水に浸かるまで乾燥状態でも生きられる。

### アカイエカ

夜行性で昼間はあまり行動せずに暗い場所で過ごしている。春と秋に活動的になり、暑さに弱いため夏は活動的ではない。冬は成虫の状態越冬するが、休眠状態のため吸血活動は行わない。行動範囲は数百m~数kmと広い。

### チカイエカ

アカイエカの亜種であるチカイエカは、地下鉄構内やビルの地下などの都市化が進んだ地域に多く生息しており、寒さに強く、冬眠はせずに冬でも吸血活動を起こす。冬の吸血被害はこの蚊によるものである。

## 蚊の一生



卵

蚊の種類によって産卵形態や産卵数は異なるが、産卵後、約2~5日で孵化しボウフラになる。

▶ 約2~5日



幼虫(ボウフラ)

微生物や有機物を食料に水中で生息し、蚊の種類に関係なく、4回脱皮を行い、約7~10日で蛹(オニボウフラ)になる。

▶ 約7~10日



蛹(オニボウフラ)

食料は取らないが、運動性のある蛹で、約3日で羽化し成虫になる。

▶ 約3日

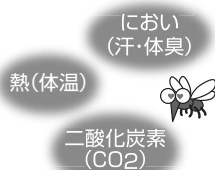


成虫(蚊)

オスもメスも普段は花の蜜などを栄養としているが、メスが産卵時の栄養補給として吸血活動を行い、約1カ月生存する。

## どうやって生物を探知しているのか?

蚊が吸血を行う場合、生物が発する二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、におい(汗・体臭)、熱(体温)で探知していると言われていた。ヒトスジシマカの場合、人の周囲3~4m程度が感知可能とされている。



## 吸血活動の種類

吸血活動は待ち伏せ型と探索型の2つに区分され、ヒトスジシマカは待ち伏せ型で動物が通りかかるまで葉の裏や茂みに身を隠している。探索型のイエカは動物を探すために積極的に飛び回るため、行動範囲が数キロと広い。



## 【仕様】

型式	摘要	質量(kg)
BD-2XL	網付カバー+樹脂製専用容器(専用浮き付)	0.3

※仕様は品質向上のため、予告なしに変更する場合があります。

製品に異常が感じられる場合はお問い合わせの販売店または弊社までご連絡ください。

発売元 **株式会社ハタヤリミテッド** 製造元 **株式会社 畑屋製作所**

顧客サービスデスク 0120-686-888(通話料無料) ホームページ <https://www.hataya.jp>

# HATAYA

保管用

C071①

# 業務用 ボウフラストッパー 出ちゃい缶 かん パケツ

BD-2XL型

## 取扱説明書

この度は、業務用ボウフラストッパー出ちゃい缶パケツをお買い上げいただき誠にありがとうございました。本製品のご使用には必ず本説明書をお読みいただき正しくお使いください。



## 【安全上のご注意】

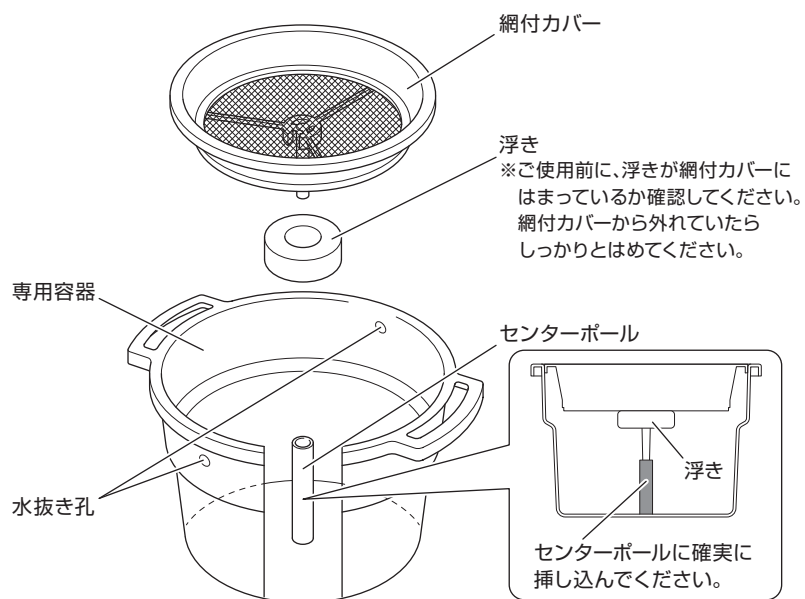
## 重要

本説明書は製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを以下の通り表示しております。表示の内容をよくご理解してから本文をお読みください。

## 【使用時及び設置時のご注意】

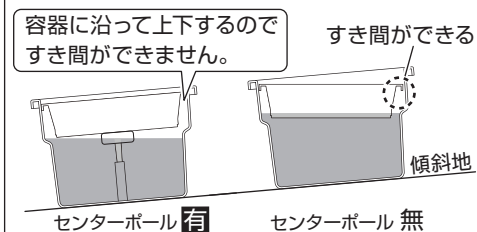
- 水を容器一杯に入れてください。雨水でもかまいません。
- 廃棄する場合は各自治体の指示に従って行ってください。
- 蒸発で内部の水が減ってきますので、定期的に水量を確認してください。  
網が完全に露出している場合は補水してください。
- 転倒やペットによる水の誤飲に注意して設置してください。
- 風が強く吹く場所や直射日光が当たる場所には設置しないでください。
- 缶内に大量の落ち葉やゴミが入っている場合は取り除いてください。
- 本製品の効果を高めるため、近くに水たまりを作らないようにしてください。  
(古タイヤ、空き缶、植木鉢など)
- ポウフラの大きさにばらつきがあり、網を抜ける場合があります。
- 本製品は水中や水辺に産卵する蚊を対象としております。
- 本製品は蚊の捕獲・駆除することを目的としていますが、設置する場所の周囲から蚊を完全に捕獲・駆除するものではありません。  
広範囲に効果を出す場合は複数個設置することをお薦めします。
- 本製品は身の回りの水たまりなどに産卵する蚊に黒色を好む習性を利用し、本製品内に産卵させることを目的としています。本製品を設置することによって敷地外から蚊を誘因するものではありません。
- ヒトスジシマカは10月末まで(所によっては11月上旬まで)卵を産み、翌年春にそれらが新しい蚊になって飛び回りますので出来るだけ多く10月末まで設置してください。  
種類によっては年中産卵を行う蚊もいますので、継続的な設置をお薦めします。

## 【各部名称】



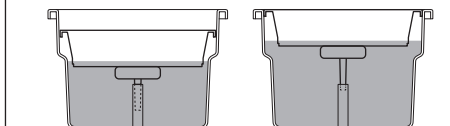
## 【本製品の仕組み】

網付カバーにはセンターポール方式を採用しているため、不整地や傾斜のある場所に設置してもカバーと容器の間にすき間ができません。



極端に傾斜がついた場所では正常に機能しません。設置後は必ず網付カバーが浮き上がってくるか確認してください。

水位に合わせて網付カバーが上下するので補水の回数を減らすことができ長時間の効果を実現します。



網より下に水面が下がらないよう定期的に補水を行ってください。

## 【ご使用方法】

- 1 専用容器の中に水を入れてください。(雨水でもかまいません)  
網付カバーを外し、中に枯葉を1枚程度入れると産卵に適した水になりやすくなります。

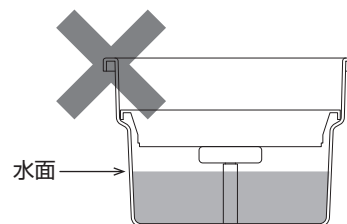


- 2 庭の日陰、植え込み、草むらやヤブなど蚊の好みそうな場所に設置し放置します。



※風が強く吹く場所や直射日光が当たる場所には設置しないこと。

- 3 蒸発により水量が減り、網が完全に露出してしまうと蚊は産卵できなくなるので定期的な水量の確認と補水を行ってください。



- 4 網付カバーを浮かせる時は、網から水面が約5~10mmの水位になるように調整してください。

